

～ 新年のご挨拶 ～

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、エネ研の運営につきまして、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、第3期中期事業計画の最終年として、エネルギー研究開発拠点化計画の充実・強化分野の一つでもある「高度レーザー技術の開発」の継続的な実施をはじめ、多数の海外研究者の受入れ、補助金事業を活用した製品化、新ふくい未来技術創造ネットワークの立上げ、災害対応ロボット技術交流会の開催、IAEA 主催国際会議の誘致、IAEA と連携した新規研修の実施など、エネ研の活動を広くアピールできたものと考えております。

これらを踏まえ、エネルギー研究開発拠点化計画の推進機関として、これまで以上に成果を目に見えるものにしていくことに主眼を置き、職員一人一人が更なるステージアップを図ることを目標に活動してまいります。

最後になりましたが、本年も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



旭信昭理事長

SSH科学実験研修が行われました(武生高校・若狭高校)

平成26年12月18日に武生高校35名、また25日に若狭高校30名が参加して、SSH科学実験研修がエネ研で行われました。

研修に参加した学生は、研究テーマごとに班に分かれ、高度な科学機器を使った実験を行い、その結果をホールで発表しました。

<研修テーマ>

- ・ 環境水等に含まれる微量金属分析 — 講師：遠藤研究員 —
- ・ プログラミングと近似計算の基礎 — 講師：西尾研究員 —
- ・ 電子顕微鏡によるミクロ組織の観察 — 講師：安永研究員 —
- ・ アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定 — 講師：田中研究員 —
- ・ 金属の蒸発と薄膜生成実験 — 講師：石神研究員 —
- ・ β 線と γ 線の吸収曲線の測定（放射線と物質の相互作用） — 講師：栗田研究員 —
- ・ 蛍光多重染色による細胞分裂像の観察 — 講師：高城研究員、畑下研究員 —

<SSHとは>

SSHは、Super Science High Schoolの略（文部科学省の事業）。SSHの指定校は、「科学技術系人材の育成」を目的に、大学や研究機関等と連携し、高校の学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。



エネ研中嶋所長の挨拶



実験の様子



発表の様子

ロボカップ・レスキューロボットリーグキャンプ IN 福井を開催しました

平成27年1月11日と12日に、エネルギー研究開発拠点化計画の一環として、福井県とエネ研の主催により、「ロボカップ・レスキューロボットリーグキャンプ IN 福井」をエネ研で開催し、雪が舞う寒い中にもかかわらず、2日間で約1,200人の皆さまにお越しいただきました。

今年5月に福井県で開催を予定している「ロボカップジャパンオープン」のプレイイベントとして、「ロボカップ」のレスキューロボットリーグに参加する研究者や学生が集まり、講演会や参加チームによるデモンストレーション・競技会のほか、小中学生等を対象とした「ロボット組立教室」や「ロボット操作体験」を実施しました。

開会の挨拶の中でエネ研の旭理事長は、「ロボットは様々な先端産業の集合体。ロボットや機械など、ものづくりは非常に重要であり、興味を持ってほしい。」と話しました。

その後、ホールで行われた講演会では、京都大学の松野文俊教授が、「災害対応ロボットの研究開発最前線」と題して、阪神淡路大震災以降の災害対応ロボットの研究開発や災害現場での適用例を紹介した後、災害対応ロボット「KOHGA3」の実演を行いました。

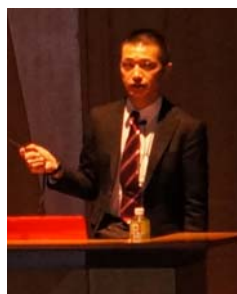
また、中京大学の清水優准教授は、「バーチャル・ロボティクスの世界」と題して、ロボットの性能確認を仮想空間で行うメリットなどについて講演を行いました。



開会の挨拶
(旭理事長)



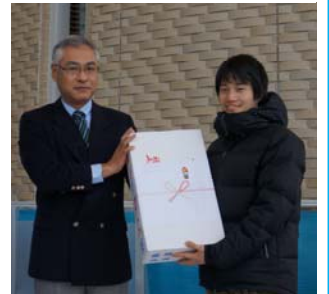
松野教授
(KOHGA3の実演)



清水准教授



競技会の様子



ロボット人気投票表彰

ホール前ロビーに設置された競技フィールドでは、ロボカップに参加予定の県外の大学9チームが、開発したロボットを持ち寄り、解説を交えて、デモンストレーションや本大会のルールに準じた競技会を実施。来場者は、ロボットの持つ特徴や性能を確認し、興味深く観戦していました。

開催期間中に行った人気投票では、京都大学の「KOHGA3」が1位になり、エネ研の梅田専務理事より表彰を行い、福井県産のコシヒカリを贈呈しました。

同時開催した「ロボット組立教室」では、福井工業大学の小沢教授の指導のもと、約100名の小中学生がロボットの組立に取り組みました。参加者からは「ロボットのしくみが良くわかった」などの感想をいただきました。

また、「ロボット操作体験」では、福井大学の川谷准教授と福井工業高等専門学校の亀山准教授の協力により、カメラ画像を見ながら迷路を脱出するロボットや高専ロボコンに出場したロボットなどを来場者が実際に操作し、子供たちからは、「こんなロボットを作ってみたい」などの歓声があがっていました。



レゴ・マインドストーム



タミヤ・ロボクラフト

ロボット組立教室の様子



迷路ロボット(福井大学)



高専ロボコン出場ロボット
「soba 江ちゃん」(福井高専)

ロボット操作体験の様子

